



秀麗な山並みは、やがて畏れ敬う信

これら白山を介した縄文時代から続く情報網は「白山環状ネットワーク」と呼ばれ、日本海側と太平洋側を結ぶ物流ルートに発展していきま

す。白山は往來の目印となり、その

小松文化の象徴は大きく二つあります。一つは、弥生土器の技術が縄文土器の伝統と合わさった小松式土器。もう一つは、鮮やかな緑色の小松産碧玉を用いたアクセサリーづくりです。この弥生人を魅了した石材の情報は、山の資源を熟知した縄文人がもたらしました。

豊かな山々を駆け抜け、石器づくりに適した良質な石材を熟知してしま

した。彼らは約4500年前から奥越や奥美濃にまで活動範囲を広げていた「山の民」です。一方、約2400年前に西方から新たな土器を携えてやって来た弥生人は、潟のほとりで稲作を生業とした「平地の民」です。両者は小松の地で出会い、原始「小松文化」を生み出しました。彼らが眺めた水面に映える雄大な白山は、大地の恵みに感謝の念を抱かせる風景と言えます。



白山と原始のこまつびと

原始「小松文化」の誕生から
白山信仰の原点を探る

問い合わせ
47-5713
埋蔵文化財センター

原始「小松文化」の象徴
(下) 小松式土器と
(右) 碧玉製の管玉

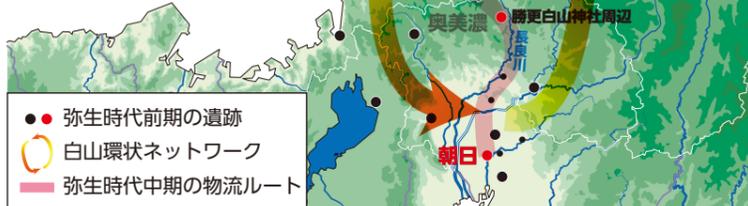
仰の対象となったのではないでしょう。か。その高揚が、そこに宿る神々と仏との出会いを経て、登拝の道を開く白山開山へとつながっていくのかもしれない。



約2500年前 弥生時代前期

白山環状ネットワーク

白山麓周辺を結ぶ情報網。特に南西の奥越・奥美濃地方のつながりが強い。弥生時代中期には日本海側の八日市地方遺跡と太平洋側の拠点的な弥生ムラ・朝日遺跡をつなぐ物流ルートが発達していく。



埋蔵文化財センター夏季特別展 「白山と原始のこまつびと ～平地の民と山の民～」

とき ～9月18日(月・祝)
観覧料 100円(高校生以下無料)
主な展示遺跡 八日市地方遺跡・六橋遺跡・大杉山崎遺跡(小松市)、白山遺跡(白山市)、志田神田遺跡(福井県勝山市)、勝更白山神社周辺遺跡(岐阜県郡上市)

山の民と物流を象徴する出土品



福祉ふれあいフェスティバル inこまつ 2017



とき 9月10日(日) 10時～14時30分
ところ こまつドーム



入場
無料

イメージ
キャラクター
ななちゃん

問い合わせ ふれあい福祉課 ☎ 24・8052

障がいの有無や世代、国籍に関わらず多くの人が集まり、様々な体験やふれあいを通してお互いの理解を深める催しです。

ゆるスポーツ体験



New!
トントンボイス相撲
声で土俵が振動し、紙相撲力士を動かします。

年齢や運動の得意・不得意を気にせず、気軽に楽しめる日本発のニュースポーツ。今回、トントンボイス相撲をアレンジした「トントン歌舞伎相撲」など、小松ならではの当地ゆるスポーツを開発し当日お披露目します！

福祉体験・展示

- ◎手話・点字体験、高齢者疑似体験
簡単な手話や点字を学べるほか、アイマスクや重りを付けての高齢者疑似体験ができます。
- ◎サウンドテーブルテニス体験
卓球台で音を頼りにボールを打ち合います。
- ◎展示コーナー
ふれ愛ふくしアート展 入賞作品展示、パラリンピック写真展など
- ◎障がいについての相談コーナー



▲点字体験

ふれあいコーナー

福祉事業所による飲食販売、国際フードコーナー、子供達に大人気のカブッキーふわふわなどがあります。



カブッキーふわふわ▶

ステージ

障がいのある人や園児による音楽パフォーマンスなどで会場を盛り上げます。そのほかにも、ふれ愛ふくしアート展表彰式、ゆる体操実演、手話コーラス発表などがあります。



スタンプラリーをしながら
色々な体験をしてみよう！
景品がもらえるよ！



この事業は宝くじの助成を受けて実施します。